

令和7年伊豆市議会12月定例会

行政報告

令和7年11月28日
伊豆市長 菊地 豊

令和7年伊豆市議会12月定例会の冒頭にあたり、行政報告を申し上げます。

1 第3次伊豆市総合計画の策定について

現行の総合計画の計画期間が今年度末で終了することから、現在、次期計画となる第3次総合計画の策定作業を総合戦略の策定と併せて進めており、今年度末までに完了する予定です。

策定にあたっては、昨年度に子育て世代や高校生への意見聴取、若者会議、中学生議会などを開催、今年度は市内の各種団体の代表者や市民有識者で組織する総合計画審議会に計画案を諮問し、5回にわたり活発な審議をしていただきました。

そして、去る11月21日に答申をいただきましたことから、基本計画の柱となる「基本構想」について今議会に議案を上程しております。

2 大規模災害に備えた訓練について

南海トラフ地震をはじめとする大規模災害に備え、11月9日に伊豆総合高校土肥分校の体育館で遺体収容所の開設・運営訓練を実施しました。

訓練は、市職員のほか、伊豆中央警察署、田方医師会、田方歯科医師会、市内葬祭事業者など約80名が参加し、市の遺体措置計画を検証しました。

また、11月15日には、伊豆赤十字病院及び生きいきプラザを会場に日本赤十字社静岡県支部と合同で災害救護訓練を実施しました。

訓練では、傷病者のトリアージを実施し、救護所での手当や病院への搬送、受入等の医療救護体制を確認しました。

今後も、関係機関と連携した実働訓練を重ねることにより、迅速な初動体制の確立に努めてまいります。

3 ひなた公園の整備について

ひなた公園は、市民の憩いの場としてだけでなく、災害時には防災拠点や避難場所となる公園として整備を進めています。

管理棟及びトイレ棟は概ね完成し、現在は、遊具の設置等の工事を進めており、令和8年4月に完成式典を実施する予定です。

また、公園管理に係る指定管理者につきましては、10月に候補者を選定し、今議会に議案を上程しております。

なお、公園管理棟東側の危機管理センターは、令和8年4月1日から供用を開始することとしております。

4 伊豆中学校の取組みについて

子どもたちが、これからの中学校で生き抜く力を育むための多様な学びを展開しており、「伊豆タイム」では、英語探究学習のほか慶應義塾大学とのXR防災教育を、また、東京大学とは「寺子屋事業」を行うなど、様々な団体等と連携を進めています。

吹奏楽部は、開校初年度でありながら、東部大会と県大会の両方で金賞を受賞しました。10月に開催した陸上自衛隊富士学校音楽隊の特別演奏会では、音楽隊と共に演奏させていただき、貴重な体験ができたものと感じております。

今後も、子どもたちが自らの可能性に気づき、未来を切り拓く力を育む取組みを進めてまいります。

5 天城中学校跡地の活用について

天城中学校跡地については、新たな利活用を見出すため、売却を前提とした民間譲渡を見据え、公募型プロポーザル方式による事業者選定を実施しました。

1者から応募があり、土地と建物を購入し、製材卸業を行う計画が提案され、審査会を経て事業候補者として選定しました。

現在、契約の締結に向けた細部の協議を行っており、3月定例会に売買契約に関する議案を上程する予定です。

6 財産区の廃止について

管理会を設置している7つの財産区に、財産の有効活用や管理の負担軽減等を踏まえた今後の管理運営方針についてご検討いただきました。

その結果、4つの財産区が財産を処分し財産区を廃止する方向とし、残りの3つは財産区を維持することとなりました。

現在、廃止の方向にある財産区と協議を進めており、協議が整い次第、財産の処分等について議会にお諮りする予定です。

7 旧天城湯ヶ島支所等売却に係る訴訟について

令和5年9月定例会で議決を受けた「旧天城湯ヶ島支所庁舎等の財産の減額譲渡」に係る行政訴訟は、去る11月6日に静岡地方裁判所において判決が下り、原告の請求が棄却され、判決が確定しました。

これにより、本件の随意契約による市有財産の減額譲渡は、法律に抵触するものではないという結論に至りました。

限られた財源で質の高い行政サービスを持続するため、引き続き、公共施設再配置計画に基づいた計画的な再編を進めてまいります。